

## 防犯訓練

平成29年6月22日にリハビリテーション病院と自立訓練施設では、防犯の研修会を実施しました。病院・施設職員・警備スタッフなど参加者は133名でした。今回は、広島市市民局市民安全推進課と安佐南警察署のご協力もあり実際の場面を想定し、参加職員が不審者制圧を行うなど、迫力のある訓練となりました。



## 行事食のご案内



3月:春分の日



5月:子どもの日



6月:入梅の日

食事形態によっては対応できない場合があります。ご了承ください。

### 今後の行事食

- 10月9日 体育の日
- 11月3日 文化の日
- 12月24日 クリスマス
- 12月31日 大晦日

## 理念・基本方針・利用者の皆様の権利

**理念**  
私たちは、利用者の皆様が住み慣れた地域でいきいきと心豊かな生活ができるよう、良質で信頼される総合的なリハビリテーションサービスを真心をこめて提供します。

- 基本方針**
- (1) 中途障害者の皆様の社会復帰や社会参加を促進するため、相談・評価から医療・訓練、就労援助までのリハビリテーションサービスを貫いた計画のもとに提供します。また、保健・医療・福祉の関係機関と連携を図り、地域におけるリハビリテーションを支援します。
  - (2) 利用者の皆様一人ひとりの立場に立って悩みや希望を理解し、誠意を持った細やかな対応と良好な環境整備に努め、個人の権利を尊重したサービスを提供します。
  - (3) 病院は、専門スタッフが回復期を中心としたリハビリテーションにチームで取り組み、最適のリハビリテーション医療を提供します。また、インフォームド・コンセントを徹底し、安全で信頼される医療を提供します。
  - (4) 自立訓練施設は、家庭や職場、地域での生活を再構築するための通過型施設として、最適な相談・訓練等のサービスを提供します。

- 利用者の皆様の権利**
- ・あなたには、個人として尊重される権利があります。
  - ・あなたには、良質で安全な医療・福祉サービスを平等に受ける権利があります。
  - ・あなたには、あなたの症状や障害の状態、リハビリテーション計画について十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
  - ・あなたには、リハビリテーション計画をあなたの意思で選択し、決定する権利があります。
  - ・あなたには、診断やリハビリテーション医療について、他の医師の意見を聞く権利があります。
  - ・あなたには、プライバシーが守られる権利があります。



こころ通信  
いっぽ いっぽ  
Vol.16

地方独立行政法人 広島市立病院機構  
広島市立リハビリテーション病院・自立訓練施設  
〒731-3168 広島市安佐南区伴南一丁目39番1  
TEL(082)848-8001 FAX (082)848-8003  
e-mail riha-hosp@hcho.jp

## TOPICS

- ☆ごあいさつ(郡山病院長) ☆新入職員紹介 ☆行事食
- ☆理念・基本方針・利用者の皆様の権利 ☆防犯訓練

### ごあいさつ ~ 病院長 郡山達男



多職種連携による回復期リハビリテーションの向上を目指して

平成28年度診療報酬改定において回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリの効率の評価が導入されました。リハビリ分野では日常生活動作の自立度を示す指標としてFIM（機能的自立度評価法）が広く用いられています。このFIMの点数が効率よく改善することが求められるようになりました。回復期リハビリ病棟ではリハビリスタッフが身体機能を改善し、身体能力の向上に取り組んでいます。当院では平成26年度から休日を含む365日リハビリを提供しています。当院においてもリハビリの実施単位数が増加するに従ってリハビリ効果が向上することを示しています。そこで、本年5月からはリハビリスタッフの休日の出勤者数をさらに増員したことから、回復期リハビリ適用患者の1日平均リハビリ実施単位数が約8.6単位（1単位は20分）と従来の8.0単位より大きく増加しています。病棟では、看護師と介護福祉士とが協働して、リフレッシュ体操、嚥下体操、立ち座り訓練といった病棟訓練を実施し、日常生活動作の自立を促進しています。また、医師・看護師・医療ソーシャルワーカー・リハビリスタッフなどが連携して在宅療養への円滑な移行のために退院支援を推進しています。このように多職種が連携して取り組んだことにより当院のリハビリ効率にさらに向上がみられています。

広島県共通脳卒中地域連携パスは平成22年度頃から県内の複数の医療圏で運用が開始されましたが、この度、ひろしま脳卒中地域連携パスとして改定されました。改定のポイントは、患者さんが急性期あるいは回復期から生活期へ移行する際に生活期を担当するかかりつけ医に加えてケアマネージャーといった介護従事者にも脳卒中地域連携パスを提供し、介護サービスにも活用することにあります。当院では、各患者さんについて1ヶ月毎に多職種カンファレンスを実施し、回復期リハビリテーションの向上に役立てています。退院前のカンファレンスは全患者さんに実施していますが、とくにケアマネージャーといった退院後の担当者が参加する退院前カンファレンスを積極的に実施しています（平成28年度の実施患者数は74人で、回復期リハビリ適用の退院患者379人における実施率は19.5%です。）。この退院前のカンファレンスにおいてケアマネージャーなどの介護従事者にも地域連携パスなどの診療情報を提供し、ケアプランの作成などに活用することにより、医療と介護の連携を推進するとともに、脳卒中などの再発、重症化予防にも役立てることを期待しています。

今後ともよろしくお願いたします。

新入職員のご紹介 事務長 平岡重宏



今年4月に着任した平岡です。どうぞよろしくお願ひします。趣味は剣道で、在住の安芸区で子どもたちの指導をしています。

私は、この病院の建つ西風新都には少なからぬご縁があります。約25年前、当時市役所の中に「開発局」という都市開発を担当する部署があり、私はそこで西風新都（当時は「西部丘陵都市」と呼んでいました。）の開発のため事業費の確保や民間ディベロッパーとの調整の仕事をしていました。一部の町並みも見え始めた平成6年、街の名称が「西部丘陵都市」では堅苦しいということから、「西風新都」という愛称を付けました。いわば西風新都の名付け親です（直接の担当ではありませんでしたが…）。その後は、アジア競技大会のときには、期間中はほぼ毎日開学前の大塚小学校に選手村管理班として詰めていました。また、西風新都事業団地への企業誘致にも携わりました。こうした関わりから、西風新都には特別な思い入れを持っています。この度久々に西風新都に帰ってきたような思ひを感じています。

当院は開設後10年を迎えます。これまでに、様々な関係者や先達の努力により、回復期リハビリテーションの専門病院として高い評価を得ています。

これからも、地域の医療ニーズに応え、愛される病院となるよう、皆さんの協力をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



2階病棟介護士の新宅文枝です。私は特養からの転職です。無我夢中の2ヶ月でしたが、退院される患者様を初めて見た時は嬉しい気持ちとやりがいを感じました。これからは、患者様の疾患に合わせた個別のケアができるよう努力したいと思います。



2階病棟介護士の藤原久美子です。当院開設当初から勤務させて頂いています。介護士はここ1~2年の間に皆様のご理解とご協力により大きく変わろうとしています。介護士として出来る事、介護士だから出来る事を日々考えながら今後も頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



2階病棟介護士の守安ゆかりです。介護士として働き始めて3年で、まだまだわからない事がとても多いのですが、笑顔で一生懸命頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



1階病棟で介護士として働かせて頂いております新枝（あたらし）幸美と申します。皆様には多々ご迷惑をおかけする事もあるかもしれませんが、日々努力していきたいと思っています。ご指導のほど宜しくお願ひいたします。



1階病棟の介護士の中山利恵です。回復期病棟で働くのは初めてで学ぶ事がたくさんあり日々勉強中です。介護士として関われる事を考え、日々患者さんに一生懸命接していきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。



7月に入職となりました1階病棟介護士の西谷真弓と申します。回復期での仕事は初めてで日々勉強させて頂いています。若くはありませぬが、遠慮なくご指導のほど宜しくお願ひ致します。



自立訓練科自立訓練担当課長の香川隆志です。以前、障害福祉行政に携わっていたことがありますが、その頃、広島市立総合リハビリテーションセンターはまだ建設・開設準備中でした。現在多くの方々に利用され、様々なスタッフが働いているセンターとなっているのを見て、何か不思議な感じがしています。センタースタッフと力を合わせ、楽しく仕事をし、利用者の皆様にご満足いただけるよう頑張ります。



医療支援室の細川博文です。3月までは、区役所で戸籍・住民票やマイナンバーカードの仕事をしていました。前に広島市民病院で勤務していましたが、病院を離れていた間に、病院はもちろん、取り巻く環境も大きく変わったと実感しています。毎日、患者さんがリハビリに熱心に取り組み、次第に回復されていく姿を拝見し、自分自身、もっと患者さんの力にならなければと感じています。お困りのことがありましたら、患者相談窓口へどうぞ。



医療支援室の医療ソーシャルワーカーの山崎恭子です。広島市民病院に12年、安佐市民病院で2年勤務して、4月からこちらでお世話になっています。医療支援室を始め、スタッフのみなさんに助けて頂きながら何とか数ヶ月過ぎました。中年ですがなんとか頑張っていきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。



臨床検査技師の山下由美です。2015年4月から2017年3月までの2年間、広島市民病院から兼任で月2日ほど検査科に勤務してきましたがこの4月から櫻井専門員の代わりに専任となりました。市民病院ではほぼ生理検査のみを30年担当して参りましたため検体検査は当院にて再勉強中です。市民病院では他職種との関わりや委員会、他の仕事が限られていたため初めて知ることが多くこの4月から7月は怒濤のような日々でしたが、最近やっと落ち着いてきました。まだ検査の問い合わせにすべて応じられませんが、どうかよろしくお願ひ致します。



広島市民病院から異動してきました放射線技師の中島和也です。期待と不安の人生初異動です。通勤時間が長くなり、生活習慣を変えなければならぬのですが、なかなか改善できず睡眠不足の毎日です。仕事の内容は今までは多少異なり最初は戸惑いましたが徐々に慣れてきてやっと一人前の仕事ができるようになってきたと自分では思っています。そしてこの異動を機に友達、知り合いを増やしたいと思っています。いきなり声をかけるかもしれませんが怪しまずに対応（基本人見知りなので愛想笑い以上希望デス）よろしくお願ひします。



はじめまして。後期研修医2年目の松本彰紘です。今年度より広島市立リハビリテーション病院に勤務しております。出身は山口県宇部市で、広島大学を卒業後、広島大学リハビリテーション科に入局しました。趣味はバスケットボールと野球観戦、家族は妻と1歳の長女、ペットはウサギとメダカで、休日は家族と過ごすことが多いです。広島の医療に貢献できればと思っています。よろしくお願ひします。



1階病棟介護士の白鞘加恵です。回復期病棟での勤務は7年になります。患者さんの心に寄り添う想いを大切にしたい良きパートナーになれるような介護士になりたいです。これからも頑張っていけますのでよろしくお願ひします。



今年度より事務室に異動となりました。堀真治です。この度の異動により昨年度から仕事の内容が大きく変わりとても新鮮な毎日を送っています。わからないことも多くご迷惑をおかけしますがご指導の程よろしくお願ひします。



栄養士の富田佳奈子です。広島市民病院から異動してきました。異動は初めてで緊張していますが、一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひいたします。